

JBA OFFICIAL 3X3 BASKETBALL RULES 2020

RULES EXERCISES

VOL.2

3x3 ルールエクササイズ vol.2
(2020年7月1日配信)

QUESTION 06

ゲームクロック残り2:05、チームA・チームBともに20点、チームBのチームファウルが4個の状態で、ショットの動作中のA1にB1がファウルをした。審判はA1に2本のフリースローを与えたが、1投目のフリースローが成功し、チームAが21点となったため、2本目のフリースローを行わずにゲームの終了を宣した。(○/×)

QUESTION 07

ショットクロック残り5秒で、A1がショットを放ち、ボールがリングに弾んだ。リバウンドのボールをA2とB2が強くつかみ合い、審判はヘルドボールを宣した。ゲームはチームBのチェックボールで再開され、ショットクロックは12秒となる。(○/×)

QUESTION 08

競技時間やオーバータイムの開始時には、審判はバックボードに正対しながらアークのトップに位置したオフENSEのプレーヤーにボールを手渡し、チェックボールでゲームを開始させる。(○/×)

QUESTION 09

3x3では、ボールがクリアされたあと、オフENSEのプレーヤーがアークの内側でバスケットに背や体の側面を向けて連続して5秒以上ボールを保持したり、ドリブルしてはならない。審判はビジブルカウントのシグナルで5秒を数える。(○/×)

QUESTION 10

競技時間中にA1に2回目のテクニカルファウルが宣せられた。テーブルオフィシャルはスコアシートにA1が2回目のテクニカルファウルであることを記録し、審判はA1を失格・退場とした。(○/×)

今回のルールエクササイズの解答と解説は、【3x3 ルールエクササイズ vol.3】(2020年8月1日配信予定)とともに配信いたします。

JBA公式ホームページでは、競技規則、JBAプレーコーリング・ガイドライン、ルールテスト問題集などをご確認いただけます。

<http://www.japanbasketball.jp/referee/>